

国土地理院 同時発表

平成 31 年 1 月 23 日  
道路局環境安全・防災課**「多様な主体が管理する道活用」連絡会（第5回）の開催**

～各県の取組状況を確認し、更なる検討を進めます～

平成 31 年 1 月 28 日に『「多様な主体が管理する道活用」連絡会(第5回)』を開催します。今回は、各県より、異なる種類の道の把握・共有に係る取組状況を報告いただき、各地域における工夫や課題等の共有を図ります。

災害時の国民の安全・安心の確保を図るため、山間地等において、民間を含め多様な主体が管理する道を把握・共有し、避難路や代替輸送路として活用する取組が求められています。

このため、道路、農道、林道や民間の道の関係機関等で構成する「多様な主体が管理する道活用」連絡会(座長 米田 雅子 慶應義塾大学 先端研究センター特任教授)を設置し各種道の統合地図の作成や活用方法等について、検討を進めています。

1. 日 時：平成 31 年 1 月 28 日（月） 14：00～16：00
2. 場 所：中央合同庁舎 2 号館 1 階 国土交通省 共用会議室 5  
（東京都千代田区霞が関 2-1-3）
3. 議題(予定)：(1) 各県の取組状況  
(2) 手引き（案）について  
(3) 今後の取組について
4. 構成員：別紙のとおり

## &lt;取材等について&gt;

- ・会議は非公開とさせていただきますが、報道機関に限り、会議冒頭のみカメラ撮り可能です。
- ・カメラ撮りをご希望の方は、13 時 55 分までに会場へお越し下さい。

## &lt;問い合わせ先&gt;

○道路局 環境安全・防災課 地域道路調整官 清水 将之  
Tel:03-5253-8111 (内線 38152) 直通:03-5253-8495  
Fax:03-5253-1622

○国土地理院 企画部 地理空間情報政策調整官 山本 洋一  
Tel:029-864-1111 (内線 3121) 直通:029-864-6445  
Fax:029-864-1658

「多様な主体が管理する道活用」連絡会  
構成員名簿

## ○構成員

- |     |    |                                       |
|-----|----|---------------------------------------|
| ◎米田 | 雅子 | 慶應義塾大学 先導研究センター特任教授                   |
| ・若尾 | 将徳 | 内閣官房 国土強靱化推進室 企画官                     |
| ・清野 | 哲生 | 農林水産省 農村振興局 整備部 地域整備課長                |
| ・矢野 | 彰宏 | 林野庁 森林整備部 整備課長                        |
| ・木暮 | 甲吉 | 林野庁 森林整備部 計画課 施工企画調整室長                |
| ・関口 | 高士 | 林野庁 国有林野部 業務課長                        |
| ・直原 | 史明 | 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課<br>環境・リサイクル企画室長 |
| ・野田 | 勝  | 国土交通省 道路局 環境安全・防災課長                   |
| ・飛田 | 幹男 | 国土交通省 国土地理院 企画部長                      |
| ・稲月 | 勝巳 | 電気事業連合会 工務部長                          |
| ・花石 | 啓介 | 日本電信電話(株)技術企画部門 災害対策室長                |
| ・奥田 | 雅之 | 岐阜県 県土整備部 道路維持課長                      |
| ・森本 | 哲生 | 静岡県 交通基盤部 管理局 政策監                     |
| ・中野 | 敦子 | 三重県 戦略企画部 企画課長                        |
| ・楠見 | 和紀 | 和歌山県 県土整備部 道路局 道路政策課長                 |
| ・遠藤 | 守彦 | 徳島県 県土整備部 高規格道路課長                     |
| ・肥本 | 一郎 | 高知県 土木部 道路課長                          |
| ・行田 | 明生 | 宮崎県 県土整備部 道路建設課 課長補佐                  |
- (◎座長、敬称略)

# 「多様な主体が管理する道活用」の検討手順

## 「多様な主体が管理する道活用」の検討手順

### ネットワーク地図の作成と活用検討

#### 自治体が「多様な主体が管理する道」の情報収集

- ・「多様な主体が管理する道」の現状調査  
(道路関係地図の収集・データ化・調査)  
国道、県道、市町村道、林道、農道、砂防管理道、臨港道路、  
里道・赤道、林業作業道、電力管理道、通信管理道等
- ・GISによる各種データの統合

#### 地域の道の管理関係者との調整

- ・災害時・国土保全・森林整備における多様な道の相互利用の検討

#### 比較的小さい道

自治体が「多様な主体が管理する道」の情報を地域住民に限定して提供

地域住民が「多様な主体が管理する道」によるネットワークを参考にして、自らの避難ルートを検討

#### 比較的大きな道

「多様な主体が管理する道」による命の道ネットワークづくりの検討

重要度の高い避難ルートについては、公道と私道を繋いで避難路・代替輸送路を計画

国土強靱化地域計画への反映

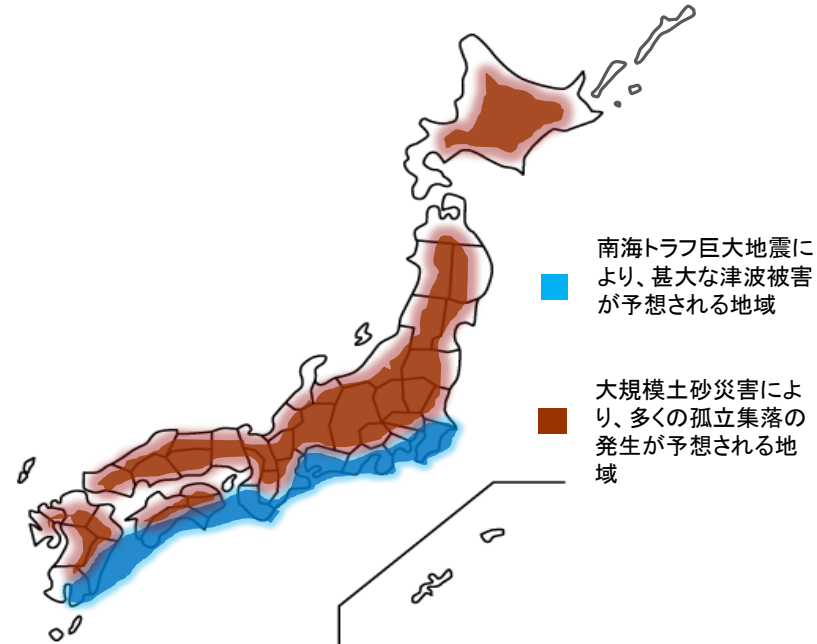
電子国土基本図への反映

接続のための取り組み

接続道路の新設、補強など

## 当面对象とするエリア

これまでの取組や、南海トラフ地震等を想定し、当面对象とするエリアを設定



- ・公道と私道など「多様な主体が管理する道」を繋ぐネットワークを形成し、避難ルートを拡大
- ・平時には、国土保全、環境整備、森林整備、観光等に活用

### 対象エリア

岐阜県・静岡県・三重県・和歌山県・  
徳島県・高知県・宮崎県